

横浜銀行におけるPPP/PFIへの取り組み

2022年11月10日

地域戦略統括部

目次

1. 横浜銀行におけるPPP/PFIの位置づけ . . . P 2
2. 横浜銀行のPPP/PFIの関与 . . . P 4
3. 横浜PPPプラットフォームでの役割 . . . P 9

1. 横浜銀行におけるPPP/PFIの位置づけ

コンコルディア・フィナンシャルグループ 中期経営計画 2022～2024年度

- 長期的にめざす姿
地域に根ざし、ともに歩む存在として選ばれるソリューション・カンパニー
- 中期経営計画の位置付け
変革を加速し、成果を具現化する3年間
- 基本テーマ・重点戦略

Growth

- ① ソリューションビジネスの深化・拡大
- ② 戦略的投資・提携の活用



Change

- ③ 人財ポートフォリオ改革・エンゲージメント向上
- ④ デジタル・トランスフォーメーション (DX)

Sustainability

- ⑤ 持続可能な地域社会への貢献
- ⑥ ガバナンスの高度化

1. 横浜銀行におけるPPP/PFIの位置づけ

横浜銀行グループ × 地方創生

まちづくりに資する取組み

- 地域開発や工業団地などへの企業誘致支援
- PPP/PFIなどを活用した公共施設利活用促進



ひとの流れをつくる取組み

- 社会環境の変化に適応した観光振興
- 移住定住増加策の具体化



しごとを作る取組み

- 研究開発から事業自走化へ向けた創業支援
- 大学等との連携による企業価値向上支援



地域脱炭素に資する取組み

- 地域脱炭素プラットフォームの立上げ
- 地域新電力、EV等の脱炭素支援



公金等の業務効率化につながる取組み

- 税公金収納等の電子化、ペーパーレス化推進
- 慣習で実施されてきた非効率業務の改善



社会課題解決に向けた取組み

- 自治体、NPO等と連携した子どもの貧困問題や医療、福祉への取組み



2. 横浜銀行のPPP/PFIへの関与

神奈川県内のプラットフォーム

神奈川県
県営住宅建替え
PPP/PFIプラットフォーム
(2019年12月設置)

相模原市PPP/PFI
地域プラットフォーム
(2018年9月設置)

川崎市PPPプラットフォーム
(2019年9月設置)

横浜PPPプラットフォーム
(2022年11月設置)

松田町PPP・PFI
地域プラットフォーム
(2017年12月設置)

Yopp
YOKOHAMA PPP PLATFORM

横須賀PPP/PFI
地域プラットフォーム
(2019年9月設置)

三浦市
地域プラットフォーム
(2018年8月設置)

2. 横浜銀行のPPP/PFIへの関与

国土交通省PPP協定パートナー

PPP(Public-Private-Partnership)協定 令和4年度概要  国土交通省

国土交通省とPPP協定を締結した民間事業者が、協定パートナーとして、地方公共団体職員・地場企業向けにセミナーの開催や個別相談、データベースの提供を通じ、PPP/PFIの普及・啓発を行います。

国土交通省

PPP協定

協定パートナー

国土交通省

国土交通省は、協定パートナーの活動の広報や協定パートナーへの情報提供、協定パートナー主催セミナーへの職員派遣等を通じて、協定パートナーの活動を支援します。

セミナーパートナー

セミナーパートナーは、各々の強みを活かして、地方公共団体職員、地場企業等を対象としたPPP/PFIに関するセミナーを開催します。セミナーの参加費は無償です。

金融機関パートナー

金融機関パートナーは、地方公共団体職員及び地場企業の方を対象に、PPP/PFIに関する相談対応や情報提供を実施します。地方公共団体は無償でご利用いただけます。

個別相談パートナー

個別相談パートナーは、地方公共団体職員及び地場企業の方を対象に、PPP/PFIに関する相談対応を実施します。地方公共団体は無償でご利用いただけます。

データベースパートナー

データベースパートナーは、PPP/PFIに関するデータベースを提供します。地方公共団体は無償でご利用いただけます。

2. 横浜銀行のPPP/PFIへの関与



県立花と緑のふれあいセンター整備等事業
(平塚市)



神奈川県立がんセンター特定事業
(横浜市)



瀬谷区総合庁舎及び公園整備事業
(横浜市)



寒川浄水場排水処理施設特定事業
(寒川町)

2. 横浜銀行のPPP/PFIへの関与



バイオマスセンター施設整備運営事業
(三浦市)



川崎市北部学校給食センター整備事業
(川崎市)



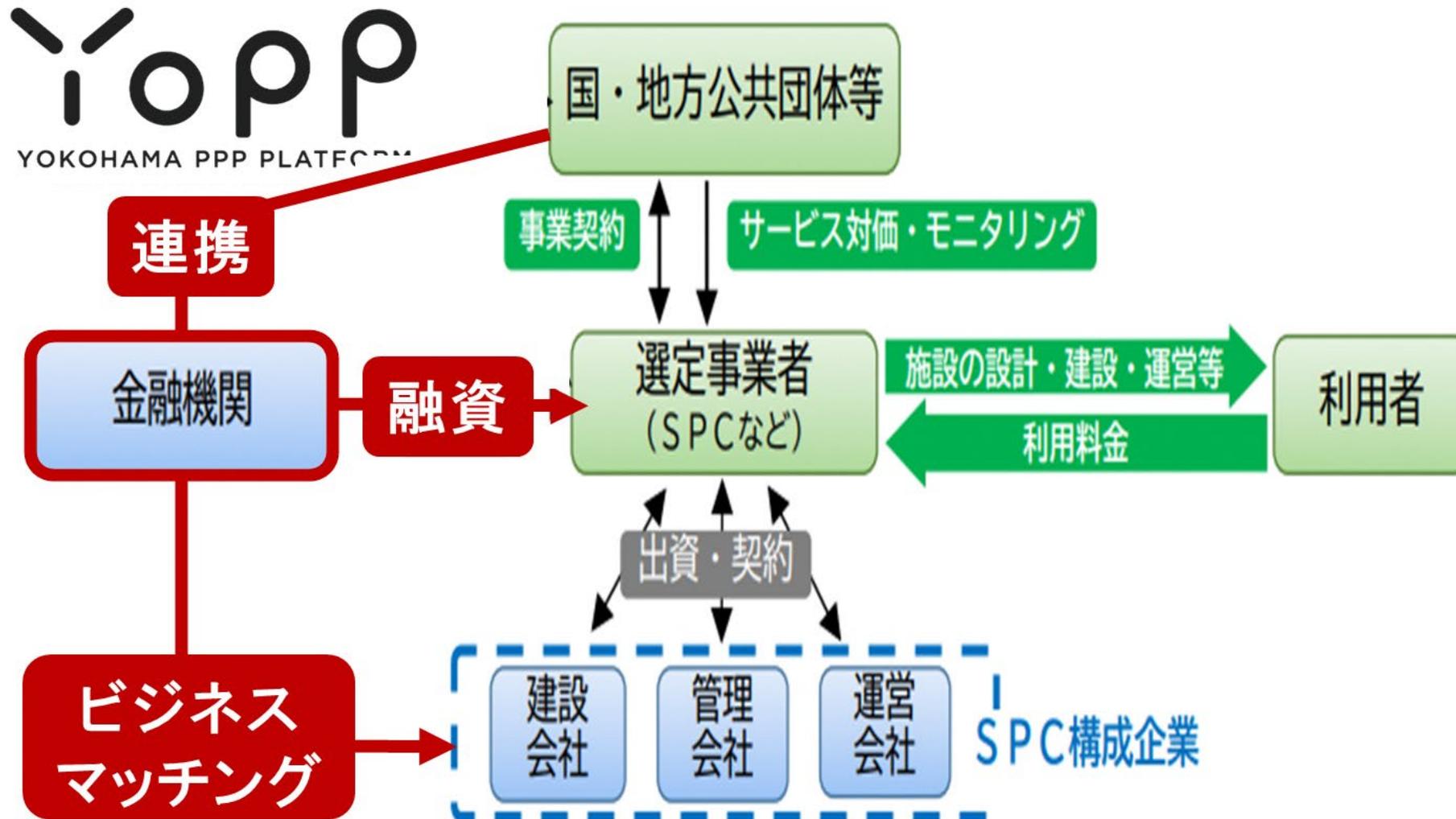
藤が岡二丁目地区再整備事業
(藤沢市)



上郷・森の家改修運営事業
(横浜市)

3. 横浜PPPプラットフォームでの役割

PFI事業のスキーム例



Afresh あなたに、あたらしく。



横浜銀行

CONCORDIA
コンコルディア・フィナンシャルグループ



Yokohama Big Advance

横浜信用金庫

創業	大正12年（1923年）7月
出資金	18億円
預金積金	2兆 215億円
貸出金	1兆1,046億円
役職員数	1,271人
店舗数	61店舗
本社	横浜市中区尾上町2丁目16-1



Mission

企業価値の中に、
未来を見つける。

金融機関と共に、
日本全国の企業が織りなす
可能性に伴走します。



「Big Advance」とは？

DX・経営課題解決に使える中小企業向けの経営支援プラットフォームです。

課題
解決

ビジネスマッチングやHP作成など多機能を搭載。様々な経営課題に対応。

情報
配信

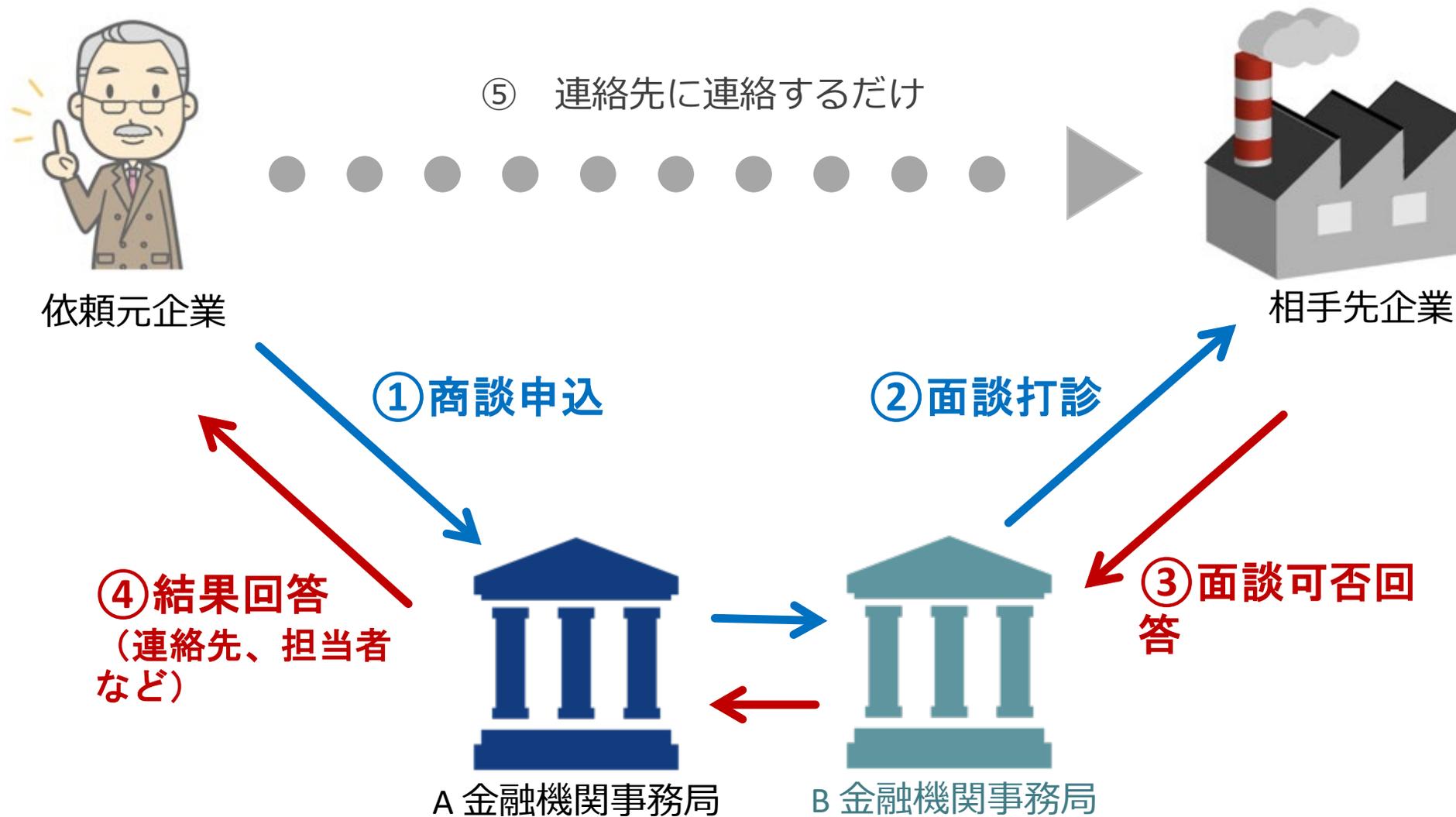
地域の有益な情報が、新鮮な状態で配信されるのでトレンドが把握できる。

伴走
支援

サービス活用のサポートで、金融機関がお客様と伴走していきます。



ビジネスマッチング



シンプル版



アドバンス版



作成企業数

約14,000社

初めてHP作成した
企業の割合

約40%

累計PV数

約1,500万PV

HPへの問い合わせ

約12,000件

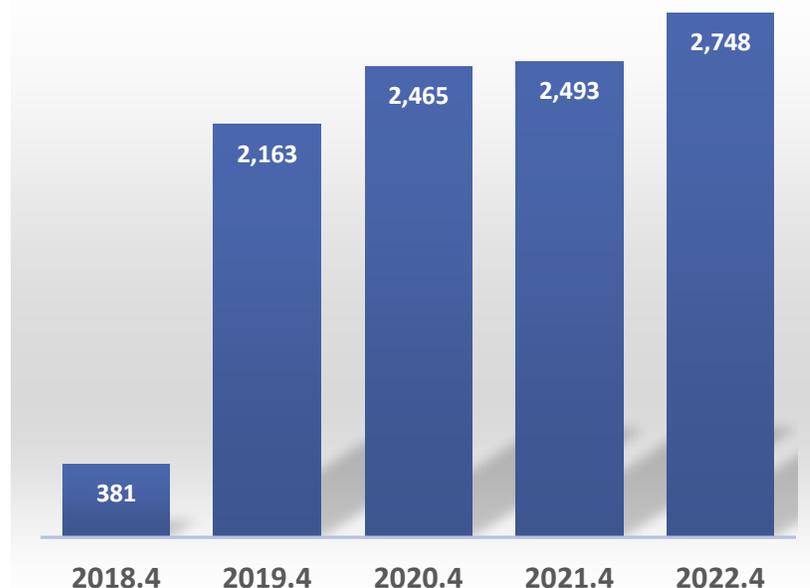
※2022年9月末時点

Yokohama Big Advance の現状

2022.10 現在

会員企業の推移

2,791社



その他係数

商談件数

4,252件

商談成約

539件

従業員登録人数

13,734人

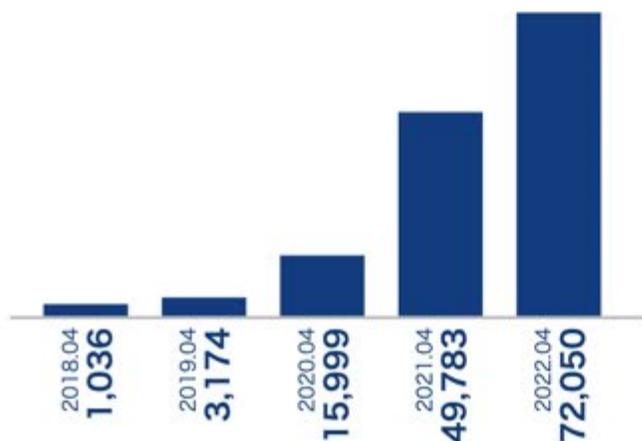
Big Advance 全体の計数について

2022.3.31現在

会員企業数の推移

ご登録いただいている企業数はサービス開始以降、純増で推移しています。

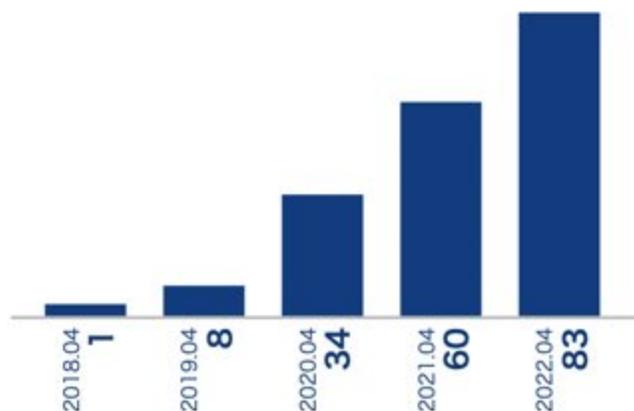
72,050 社*



導入金融機関数の推移

引き続き全国の金融機関にて導入検討、ネットワーク拡大中です。

83 金融機関*



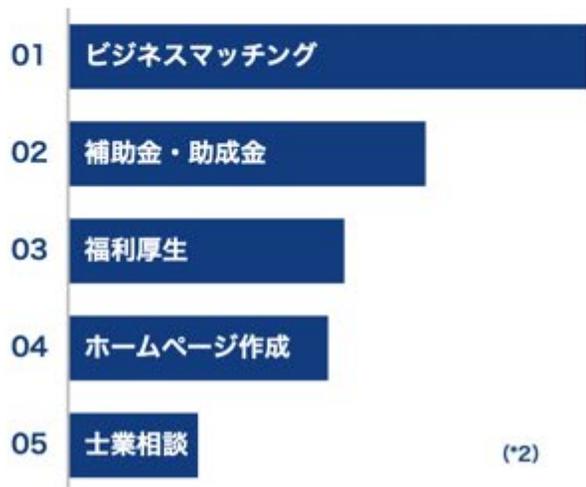
会員企業の業種

様々な業種の企業に様々な目的でご利用いただいています。



Big Advance 全体の計数について

興味のある機能^(※1) TOP5



(*1) 会員登録時アンケートによる調査結果 (集計期間: 2021年4月末リリース時~2022年3月末)

(*2) ビジネスマッチング (78%)、補助金・助成金 (54%)、福利厚生「FUKURI」 (39%)、ホームページ作成 (37%)、士業相談 (16%) 他

累計商談数

Big Advanceだからこそ生まれた垣根を超えた商談が増えています。

68,002 件*

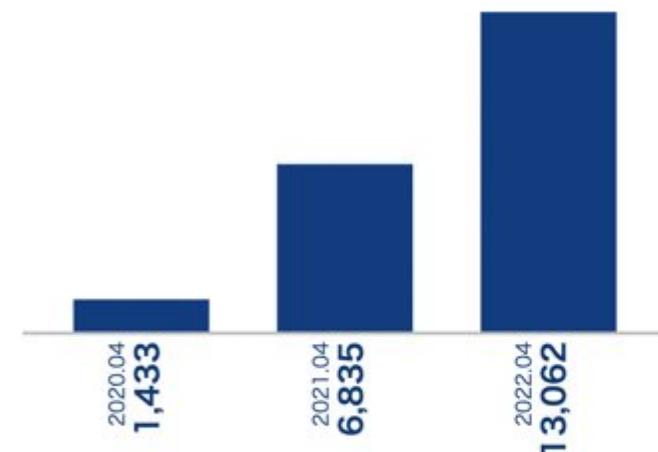


ホームページ機能の利用数

フォーマットに入力するだけで完成するホームページ。

特に初めて作る企業様に好評です。

13,062 件*



*2022年3月末時点の実績値

会員企業様とともに

未来をつなぐ、ともに前へ

横浜信用金庫 営業統括部

加藤・木村